

苦情受付

平成18年度 一件ご指摘を頂きました。お詫びにうかがい、解決しました。
 利用される皆様方の意向を大切に今後も質の高いサービスを求めて努力をしてみたいと思います。
 (千鳥福祉会苦情解決委員会)



平成18年度サービス自主点検結果

| 点検大項目 | 主任以上 | 非常勤職員も含む現場職員点検結果 | | | | サービス向上委員会講評 |
|----------------------|------|------------------|------|------|------|--|
| | | 持田寮 | ういんぐ | フレンド | 共同生活 | |
| 理念・基本方針の確立・周知徹底 | 64 | 75 | 63 | 29 | 65 | 事業開始から15年経過している事業、開始間もない事業、あるいは入所型・通所型それぞれが固有の課題を持っており、その課題を共有し、一層事業所のレベルを高める必要がある。また、各事業のよさが生かされる項目の検討の必要性を感じた。 |
| 中長期的ビジョン・実行計画策定手順 | 60 | | | | | |
| 管理者責任の文章化とリダグアップの実態 | 54 | | | | | |
| 経営状況の把握とし変化への適切な対応 | 63 | | | | | |
| 人材確保・育成の体制整備・確立、状況把握 | 44 | 77 | 49 | 56 | 79 | |
| 安全管理 | 62 | 76 | 63 | 57 | 66 | |
| 地域との良好な関係 | 55 | 81 | 57 | 41 | 75 | |
| 利用者本位の徹底 | 55 | 79 | 63 | 52 | 86 | |
| サービスの質向上の取り組み | 52 | 75 | 52 | 52 | 84 | |
| PDCA 管理 | 64 | 88 | 50 | 42 | 88 | |

多久和さんの PHOTO コーナー



「松江城の桜、今年もきれいに咲きました。」



千鳥福祉会後援会員 (松江土建株式会社 設計課長)

募集 ヘルパー募集中です。

■主に土曜日、日曜日、祝日の外出支援をお願いします。

連絡先 事務局：TEL0852-24-8820 (担当川岡まで)

編集後記

時間だけは確実に過ぎていく。
 「あせっても同じ」でも「成り行き」では済まされない。と言いつつも、安来節屋の社長から「上がってるよ！」と言う連絡が入ったので仲のいい友達とウグイを捕りに出かけました。15~16匹、網からはずす瞬間はまさに「旬」、「季節をこんなに感じる暮らしかあって、幸せだね」とつぶやきました。

Leaving Care News

〒690-0814 松江市東持田町1415
 社会福祉法人千鳥福祉会
 知的障害者更生施設持田寮
 TEL 24-8820 FAX 24-8825
 知的障害者通所更生施設
 L.C.C.ういんぐ
 TEL 24-8871 FAX 24-8872
 千鳥福祉会ケアセンター大空
 TEL 24-8807 FAX 24-8808

自立支援法への移行

L.C.C.ういんぐはこの4月自立支援法による事業に移行し多機能事業所となりました。

定款から第1種社会福祉事業 知的障害者通所更生施設「L.C.C.ういんぐ」が消え、第2種社会福祉事業 障害福祉事業(〇〇、L.C.C.ういんぐ・・・)と並列記載になりました。ういんぐ誕生の想いもさることながら、「更生施設に通所ができる」「福祉協会に通所更生部会を立ち上げる」「障害者デイサービスセンターが制度化される」などの歴史が思い出され、「変わる」ということばをしみじみと感じています。ただ、感傷に浸っている余裕などなく、船を漕ぎ出しましたので早くそれぞれの事業が充実し利用される方に喜んでいただけるよう力を結集します。

このたびの移行で就労移行事業を始めます。一般就労という大きなハードルをクリアできるだろうか・・・弱音を吐くわけではありませんが、イギリスの障害者雇用制度が羨望と共に思い起こされます。

イギリスでは、働く障害者に生活に必要な一定の給料を保障します。仮にそれを日本の最低賃金であるとすれば、企業から支払われる給料で足りない部分を国は企業に補助します。企業は作業能率に関係なく一定の額を給料として支払うわけです。つまり、「障害があっても働く意思のあるものにはその権利を国が保障する」ということになりませんか。



企業内作業所 (安達機械)



■作業風景を紹介します。



L.C.C.ういんぐ 作業風景

今年もやります。サマーフェスタ!

●お陰様で 今年で6回目を迎えます●

大勢の皆さんのお出かけをお待ちいたしております。
 2月28日、第1回実行委員会を開きました。祭りに参加いただいた皆さんが楽しみ、元気になるような祭りにしようと知恵を絞っています。
 千鳥福祉会の夏祭り実行委員会の委員を募集します。

7月22日(日) 16:00~21:00

舞台：交渉中
 縁日：ヨーヨーつり、金魚すくい、ゲームなど
 迷路：えうご期待
 露店：えうご期待



さくらの花と一緒に、新しい年度が始まりました。



4月は異動の季節、当法人も持田寮施設長山本昌子、L.C.C. ういんぐ施設長宮廻俊夫が事業部全体統括業務に異動し、五つの事業の責任者が若返りました。この機会に各事業の管理者（旧法は施設長）を紹介いたします。利用されている方の中には「変わる」事が大変苦手な方もいらっしゃると思いますので、現場には影響がないよう、丁寧にお話をしようと思っています。いずれにいたしましても、新しい体制のもと、職員一同張り切っておりますのでどうか変わらせずよろしくお願い申し上げます。

千鳥福祉会理事長 山本 昌子

持田寮 施設長 江指 裕嗣

この春、持田寮施設長の職を拝命しました。あまりにも責任が重く、私に施設長の責務が果たせるか、不安の方が大きいというのが正直な所です。

持田寮の職員となってから、11年。当時の事を振り返ると、知識も経験もなかったため、利用者みなさんに上手く対応できなかった私がそこにはいました。しかし、利用者みなさんとの日々の関わりは、実に楽しく、癒される部分も多かったように感じます。勿論、障害があるがゆえに難しさもあって、上手く通じ合えず、もやもやとした気分になることもあります。ですが、そういった部分が理解できて、相手の方も笑顔が見られた時は、何とも言えない嬉しさがあります。利用者みなさんとの関わりの中にある、もどかしさの先にある喜びが、私を動かす原動力となって来たように思います。

先日、ある研修にて、「あなたは何の為に働いているんですか？」との問いに「あれ、何でだったかいな？」と悩み、あれこれ思い巡らす事がありました。「私は幸せになるために働いています。」との講師さんの言葉に「やー、自分もそげだったにな。」と気づくことができました。恥ずかしながら、思春期の葛藤の中から、人は一人では幸せになれないなというような自分なりの結論から、福祉の道を目指した事を思い出しました。家族がいて、友人がいて、職場の仲間がいて、利用者みなさんがいるのが私の日常です。初心に立ち返り、互いに支えあって、互いに幸せになれるような仕事を目指して行きたいと考えている今日この頃です。

何分、まだまだ力不足の私でありますから、皆様からの温かいご指導、ご支援を頂く事が出来れば幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

多機能事業所L.C.C. ういんぐ管理者 神田 弘治

この度、L.C.C. ういんぐの管理者を務めることになりました神田です。

至らぬ点が多いと思いますが、熱意と誠意を持って対応していきたいと思っておりますので、温かいご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

さて、L.C.C. ういんぐは一面にも紹介いたしましたように、この4月より生活介護事業、就労継続事業、就労移行事業の3つの事業（機能）を持った多機能型事業所として新たなスタートを切りました。

各事業において、一人ひとりの願いやニーズをいかに捉え、いかにサービス提供ができるか模索しながら進んでいる最中ですが、中でも就労移行事業は、企業就労という結果を出すことが要件にあるなど基準の厳しさを抱えています。「懸命に走りながら」というスタートでもありますが、ともあれ利用者一人おひとりの大切な日中の時間を有意義に効果的に過ごしていただけるよう、結果としてたくさんの笑顔に合えるような事業展開を目指していきたいと考えております。



ワークセンターフレンド 施設長 松浦 和志

平成18年3月、ワークセンターフレンドが開設し、早いもので1年が過ぎました。この一年を振り返って見ると、クリーニング業務に明け暮れた日々、利用者の皆様の相談ごとの日々であったように思います。

「就職したい」「3年後には就職したい」「まだまだフレンドで働いて、就職はしたくない」「自立して、アパートに住みたい」「運転免許が欲しい」などたくさんの思いを聞いてきました。法人の理念である「千鳥福祉会はあなただけの生き方を支援し続けます」に沿って、この思いをただ聞いて「頑張りましょう」の声かけに終わらないために、一歩ずつ一緒に階段が登れるような支援をしていきたいと思っております。

まずは人の暮らしの中心である「働く」事への挑戦からスタートです。

千鳥福祉会ケアセンター大空管理者 竹内 淳子

居宅介護事業を始めて5年目を迎えました。「施設職員」から「ヘルパー」に転職!?私自身は多忙極まりないと思っておりますが、家族からは「又遊びに行った? (遊んでばかりいるね...)」何度説明しても老人さんのヘルパー感覚なのか外出支援(仕事)の理解は難しいようです。制度が短い間に変わり、誰もが周知するのに時間がかかっています。

「やりたい事」「行きたい所」「買い物」「話し相手」等、必要な人に必要なサービスを提供するのが私達の仕事だと思っております。身体的には(少しばかり)年を重ねてきましたが、好奇心だけは20代のままです。時には失敗もありますが、皆様の最高の笑顔に励まされ、頼もしい仲間を支えられ、もう少し頑張ってみようと思っておりますので、どうぞ今後とも「ケアセンター大空」をよろしくお願い致します。

共同生活介護・援助事業所管理者 遠所三津江

私は、昨年後期より「共同生活介護・援助事業所」に配属となり、既に半年が経過しました。これまで長い間日中活動の場でなじんでいた方々と今度は私生活でのお付き合いが始まり、私にとっても利用者さんにとっても最初は緊張と、戸惑いの連続でした。(実は今もです。)

千鳥福祉会では、近隣に位置する8箇所のホームを持ち、就労されている方、あるいは法人内外の事業所に通所されている方など、現在40名の利用者さんが入居されていますが、障害がある方にとって毎日の生活の中では、いろいろな困難な状況に直面されることが多く発生します。

日中、さまざまな励ましの中で頑張っている分、一気に自分自身をさらけ出し本音が出る、それがホームです。皆さんの本当の姿がそこにはあります。笑い、怒り、悲しみ、わがまま、さみしさに触れ、とても背負いきれないほど重い仕事であることを痛感しています。困ったときにはがっちりたくましい世話人さんの協力や知恵を仰ぎながら共に考え、共に悩み、また必要な時には他機関と連携し、その人がその人らしい人生を見出せるよう、微力ながら応援したいと思います。

自立支援法の施行により今後も地域生活移行が益々推進されていく流れとなりホームの果たす役割と責任は大変重いものと認識しております。安全で安心のある地域生活が提供できるよう精一杯頑張りたいと思っておりますので、今後ともあたたかい目で見守ってくださいますようよろしくお願い致します。また、新しいホームを探しています。良い物件がありましたら、ご紹介ください。

直撃インタビュー「楽しそうですね、一言感想を」

宮本：「今、ガウンたたみをしています。見習いから初めて正式に決まりました。今は慣れて、やり直しも少なくなり楽しくやっています。」

村松：「4月から、ういんぐに決まりました。楽しいです。」



勝部：「うお〜!!」
中島：「ヘルパーとして外出支援中です。楽しく仕事しています。」



「キャーッ!!」
仲良し3人組で〜す。
新年を迎えてこれから温泉に行くところです。
ピッカピッカになるんだよ!



ベゴニアまつりに来ました。
ハルヨ、ホントは、黄色よりピンクが好きだけど…ネ!
い〜っぱいの花、きれいだったよ。

